



新維

御布告往來

單



童蒙必讀

維新

御布告往來

東京

思明樓藏版

童

蒙

義

讀

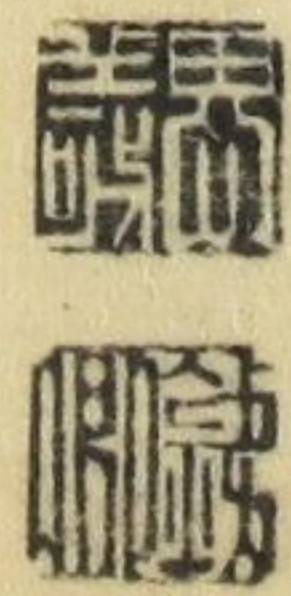
維

新



御布告往來

雲江子



御布告往來

抑皇政復古綱紀御維

新御大政万機御更張

公明正大言路洞開方

アキラカニシテワタクシナク

イナフトハドラマデキトホリ

サシ

今奎運隆盛文明開化

之盛時盛世盛典粵粵

秋之際一因循姑息

苟且偷安尸位素餐之

舊弊固習盡弊陋習陋

弊弊風を洗滌一掃

上華族士族率下

草莽草萊草間蓬蒿

庶民衆庶億地一民隻

氏了至近其本貫所属

或詳不尚徒食空手

遊手世以各其職掌職

業と守里夙夜不怠分

陰寸隙或惜之日夜勉

強勅勵奮發奮激

皇朝本邦漢土支那西

洋泰西ヨウタイ之ノ學術ガク天文テん地チ

理究リキウ理測リソク量算リョウサン術醫ジュイ學ガク

歷史リシ等トウ諸シヨ學科ガクとト研ケン

究キウ覃思タンシ一イチ淳ジュン善ゼン流リウきん

實才トウサイをヲ養ヤウひヒ國家クニカ之ノ大ダイ

用ヨウ了リョウ供コウ一イチ富國フクニク強兵キョウヘイ之ノ

策サク謀ボウ講究コウキウ一イチ經世ケイセイ濟民セイミン

術ジュツとト討論トウロン之ノ無ム

百五十五

テタテ

イフマテモ

論勿論御布令涉布告

遠達書以沙汰之趣其

昔茲體認奉戴一協和

衆同協力同心勤王一

途報國盡忠鞠躬盡力

丹心赤心丹誠を抽出

五洲萬國之法並立萬

邦全世界地球上屹立

去勢の御廟筭天意聖

慮敵慮素志素望と遂

勢撥亂反正不凡と偉

績拔群と所行超越と

偉効卓越と勲功に依て

非常と蒙に拔擢意外

と登庸越厚と出仕

拜命敕任奏任判任叙

ラセツケラレ
三トウ以上ノヤク人
セウイ上ノヤク人
八トウ以上ノヤク人
クラン

子春官皇太子御踐祚

御即位大嘗會豐明節

後宮椒房皇后皇妃國

母國祖母御遷幸遷都

行幸御幸還幸涉巡幸

供奉法供侍從跟從

護衛御親兵近侍隊

兵士守護守衛護送

有告

行官初在所御臨幸

着御當直更番退食退

朝放衙公暇閑隙造次

顛沛暫時須臾瞬時間

も御國恩を不忘御國

い心為鄙見愚存微衷

存寄く筋忌憚忘諱お

達白達言上書上表上

手書

奏養事そうじょう天聽てんてい敵聞てきぶん

子達こたつ天裁てんさい勅裁てくさい依よ

擢たく用よう採さい用よう衆議しゅうぎ衆しゅう

評ひやう樂らく論ろん公論こうろん議ぎ一決いつけつ

治定ぢぢやう確定かくてい之上のうへ其事情そのじやうじやう

系况けいけい動靜どうじやう形勢けいせいをを探索たんさく

之これ太政官たいてい民部みんぶ外ほか

務む大藏だいざう陸軍りくぐん海軍かいぐん文部ぶんぶ

ニドノヤクシヨ ウゼウキニハゴトヤクシヨ カクモシゴトノヤクシヨ

布告往來

教育部キョウブ工部コウブ司法部シフホウ宮内ミヤウチ

諸省シヨ開拓使カイタクシ式部シキブ造幣ゾウヘイ

租稅ソウゼ戶籍コケ土木ドム紙幣シヘイ出デ

納統計ナツケイ檢査ケンサ紀錄キロク驛エキ遞テイ

勸農クワンノウ兵學ヘイガク軍醫クワンイ編輯ヘンビ工コウ

學ガク勸工クワンコウ鑛山クワンサン鐵道テツドウ燈臺テウダイ

造船ゾウセン電信デンシ製錢セイゼン製作セイサク明メイ

法ホウ諸寮シヨシヤウ正算テイサン造兵ゾウヘイ武ブ

庫測量内膳肉匠調度

諸司府縣之諸官負

諸職負下下問推問

檢査檢校之國內全

國王中下頒行頒布宣

布施行下民從順黎

庶悅服生靈信服屈拔

威服恩威茲行良否可

コトカテシテスラドレケル アカミトイクハウフカトマシキル

布告往来

否ヒ是ゼ非ヒ邪バ正ジ之ノ品ヒ評ヒ衡グ

談タン老ロウ說セツ不フ平ヘイ不フ服フク風フウ聞ブン

風フウ译ヤク物モノ議ギ物モノ論ロン之ノ有ユウ無ム

或カ邊ヘン境キョウ遐ケイ陳チン僻ヘキ邑イ之ノ至シ

近キン監カン察サツ監カン督トク洞ドウ察サツ一イツ巡シン

還エン還エン率ソツ之ノ本ホン營エイ分ブン營エイ配ハイ

兵ヘイ所ショ屯トン集シツ所ショ之ノ各カク小コウ區ク

或カ之ノ大ダイ區ク之ノ裁サイ判パン所ショ糾キウ

布告往来

集

問局ヲ傳達上稟一人

ミマクシヨ

イヒタテ

モヲシアゲ

ロト

口戸數戸籍人別士農

カズ

イヘカモ

ニシメツテウ

工商各自各口勤惰

ソレト

テンデ

セイブセイ

等下情と察し業を勵

シモクノゼウ

ワガ

ハガミ

一産と殖以の輩々之

シンタイ

フマシ

或勸奨一遊惰懶惰遊

ハメヌメ

アズビヲユカリ

ナケ

アズビ

蕩放蕩賣淫賣色博奕

ズキ

シダラナシ

イロヲウル

チゴク

バクチ

遊徒を嚴禁一竊盜草

ゴロツキ

キヒシクイマシメ

コヌスビト

全

竊強盜掠奪山賊海賊

殺害傷人命惡徒免

漢脫牢囚徒囚人

逮捕縛解送勾捉

之獄囚獄繫或

各府各縣廳不訴

或自訴自首連累

連坐罪免枉寬

と白^{あきらか}く[。]判決^{はんけつ}く[。]上臬^{じやうさふ}

首臬^{しゆさふ}木斬^{きざん}首斬^{しゆざん}罪絞^{ざいしやく}罪^{ざい}

徒罪^{とざい}左遷^{させん}貶^{へん}謫^{たく}流^{りゆう}刑^{けい}遠^{えん}

島鞭^{しまびん}笞^ち鞭^{びん}策^{さく}笞^ち刑^{けい}懲^{ちやう}治^ち

罰金^{ばつぎん}償金^{ぢやうぎん}等^{とう}從^{じゆ}法^{ぽう}處^{ちよ}之^し

行之^{ぎやう}之^し明^{めい}察^{さつ}明^{めい}斷^{だん}理^り解^{かい}寬^{かん}

解^{かい}利^り害^{がい}得^{とく}失^{しつ}を^を祝^{しゆ}理^り非^ひ

黑白^{くわくぱく}を^を明^{めい}く[。]判^{はん}然^{ぜん}決^{けつ}

断だん之上の自改過の改心の前ぜん

非ひ後悔の悔悟の伏罪の寬大の

寬典の涉處の置心の仕置の

家眷の家族の引取の之教諭の

教誨の說得の全去の外誘の

私心の反本の善の資性の

翻舊の滌の惡意の天賦の天の

稟性の善良の善の心の戒の維の

不孝行

持ち一一孝こ行こう孝こう養よう奉ほう養よう侍し

奉ほう忠ちゆう義ぎ忠ちゆう誠せい忠ちゆう良りやう忠ちゆう孝こう

貞てい烈りやう貞てい節せつとと閼あつ門もん子し表ひょう

旌せい表ひょう掲か一一過か當たう過か度た格かく

別べつ格かく外がい出しゅつ格かく破ぱ格かく例れい外がい

褒ほう義ぎ褒ほう賞しょう賞しょう譽よ褒ほう詞し

賞しょう詞し賞しょう典てん賞しょう下げ賜みりり浴よく

天てん恩おん恩おん波は被ひ恩おん德とく感かん佩はい

ミカドノコラシ
ゴラン
タメグミ
アリガタリ

六

不孝行

持ち一一孝こ行こう孝こう養よう奉ほう養よう侍し

奉ほう忠ちゆう義ぎ忠ちゆう誠せい忠ちゆう良りやう忠ちゆう孝こう

貞てい烈りやう貞てい節せつとと閼あつ門もん子し表ひょう

旌せい表ひょう掲か一一過か當たう過か度た格かく

別べつ格かく外がい出しゅつ格かく破ぱ格かく例れい外がい

褒ほう義ぎ褒ほう賞しょう賞しょう譽よ褒ほう詞し

賞しょう詞し賞しょう典てん賞しょう下げ賜みりり浴よく

天てん恩おん恩おん波は被ひ恩おん德とく感かん佩はい

ミカドノコラシ
ゴラン
タメグミ
アリガタリ

感泣以死報國臨節致

命人倫彝倫大道を固

守不失忘或を忘却忘

失一休暇休日曜日

休業之際被誘惡友登

樓妓院妓樓遊廓花街

柳巷風流窟子遊の逸

遊遊或奢侈奢靡子耽

布告律來

七

娼妓 娼婦 妓女 歌妓

弦妓 藝妓 溺れ 惑溺

沈 醜 忽 公私 諸事 哉

廢 擱 廢 止 廢 屏 一 酒 食

酒 遊 宴 盛 饌 と 聞 ま

終 二 乘 酌 爾 恣 我 意 或 八

慕 私 欲 先 一 人 一 家 一

利 肆 橫 行 悖 戾 悖 衆 人

新古今和歌集

三

の ぬに、うみ かんどん の
こゝ意受萬人こゝ指摘督
オホゼイノソレリヲウケ
オホゼイノウラミ

責謹責嚴謹禮怒衆怨
オホゼイノウラミ
オホゼイノウラミ

の ところ まるく、らん ちん、めん ざん、らん ぜん、らん
こゝ所歸門地門閥門祿
イハガテ
イハ、ロク

家祿家産寿業家道を
カ、ろく、ロウ、さん、ロ、さん、が、う、ロ、ク、どうを
共ニ全シ

潰一私資を分散一家
イハ、ダウガ
カ、ハ

具器物器械に至り典
く、き、ぶ、う、ロ、き、く、い、く、る、し、を、ロ、ん
モ、全シ

當沽却賣却斥賣一破
し、う、ロ、こ、ま、や、ロ、かん、ま、や、ロ、せ、き、を、ん、ロ、て
イ、レ、ウ、リ、ハ、ラ、セ

産亡命逃亡逃教子弟
さん、ロ、ぶ、ん、めい、たい、たい、きやう、し、てい、し、う、ち
ツ、ク、シ、カ、ケ、ヲ、チ、共ニ全シ

市吉生天

三

本告社

從類妻子家屬了至

無據無餘儀不得已分

離分教或才訣別鰥寡

孤獨と成貧困貧乏困

窮窮迫此極里加之

徵毒疥癬之惡疾哉發

廢疾廢人と成有終

落魄零落迷路頭坐視

百言生

三

夫頑劣厚顔鐵面皮トシ カクチヤリ シノカハアツキモ

至或志シヨリウチヨミと立たて慮おん取あ之の

心越起ココロ一一自奮ココロ奮あ激あ自自

張シテ一一活計カクケイ生シ計ケイ生シ活カク

之の基礎キソ立た人ひと力車リキクルマ自轉ジテン

車クルマ之の牽夫ヒキコ馬車ウマクルマ之の御夫ゴヒコ

蒸氣シヨウキ車クルマ火輪ヒヤリン船セン之の火ヒ丁テイ

水夫スイブ電線デンセン電信デンシン機キ電デン信シン

マトロス

テレグラフ

今

テレグラフ

局キョウ郵便急脚急檄急便ギン

汽道キダウ鐵道造營造築建テウ

築營繕土木キョウ土工役ニ

夫雇夫日傭と成王不ホ

惜身命シ努力節儉儉約ヤク

金貨銀貨圓金銅キン

貨青鈔孔方楮幣紙幣シ

化貝幣と貯へ貯蓄蓄財チ

貨殖富有金滿有冬豪

カ子ヲフヤシ カ子モチ

共ニ全シ

ブ

富豪族豪民商社通商

ゲシ テウジヤ

全シ

アキトナカマ アキナヒ

司之社中同社同僚集

マクシヨ

ナカマ

共ニ全シ

ソノ

勤會計勤定執筆揮毫

バシ カレデウ

モシラカク

全シ

書風婉麗草力道勁文

カキブリ カツカレク

モシノ

才學問心術正明是

ハカキキ

ナロダチ

クニシラ

依之書記筆生丁備北

カキマク

全シ

各國諸國へ出張し開

クレバノクニ

デバ

カイ

市街往來

三三三

墾開拓殖民墾田新開

并發檢見檢地田畑田

園町及畝歩及取根取

本石斗立見取見捨場

カカノ名

分一運上年貢貢稅租

稅季租家稅地稅豐年

有年豐穰豐饒儉作劣

作豐歉豊凶優劣を見

デキ

デキ

共ニ全シ

共ニ全シ

て。斟酌勅辨と加え正

直心路ヲ取立去一點

之私意謹直強勤致

汲々小心誠意脩己治

人支配管轄寧靜語證

安逸綏靜宿驛郵驛郵

傳郵亭郵信置郵人足

無滯無遲滯遲延遷延

無滯無遲滯

無滯無遲滯

不告後天

逕慢ちやん。びやう鄉村そん。むら邑里むら。り名主なぬし庄せう

屋や里り正組せいぐみ頭かみ伍人ごにん組ぐみ百ひゃく

姓せい農夫のうふう佃戸でんこ水吞みづのみに家抱けなま

奴婢ぬひ下僕げぼく其他その他其外けい一いち

同和令どうわじやう知縣ちけん事こと氣令きじやう

命令めいれい越こ導だう奉ほう管かん肉にく爰こゝ

下公事げこうじ出入しゆつにゅう告こ懇こん訴そ訟そう

原げん告こ被レ告こ争そう論ろん諱ごん闕くわん喧けん

諸事

三

華口論くわん。こうり口角くわん。こうりふくくわん。こうり衆心しゅうしん

一致いちじ協和きょうわ温溥おんぽん於お是昇し

進轉しんてん役轉やくてん任遷にんせん任除にんじょ官くわん

累遷るいせん顯達けんたつ顯名けんめい諸港しよこう海かい

管所くわんしょへ遷任せんにん輸出しゅつしゆ輸しゆ

入輸にゅうしゆ納の物品なつものひん國家こくが有あ

用もち書冊しよまつ必需ひつじゆ之の典籍てんせき籍せき

大礮たいまう小銃せうじゆ操練そうれん調練てうれん練れん孫そん

我短と捨皇漢洋を折

衰し先幼冲孩児嬰児

幼稚童児し時より日

本書紀續日本書紀舊

事記古事記大日本史

日本政記日本外史等

汗牛棟充若干種之國

書と涉獵通曉通達洞

布告往來

三十一

不舎後

遠たり一ご一らく一たい一ぶん一ち 御國體ミクニテユキタテと辨知ワキマヘシリ

竊明せんめい一ろくふしそち一し一ご一くわ 然石四書五經ワキマヘシラメ

史記しき前後漢書ぜんごくわん通鑑どよこつ綱かん

目資治通鑑もくし等諸子ちつぐん百ひやく

家か之の書しよ或ある繙えん閱えん一り一らん 浏览りらん

古今ここん一ち一らん 治ち乳る與よ廢えい

理りと詳つひ一し一よ 洋書ようしよ一し一ま 洋書ようしよ

籍せき洋よう字じ子こ入にゅう門もん入にゅう塾じやく一し

和古往來

三十三

望則規則不背畔也

教長教師教官助教也

教諭教導訓導訓誨也

服膺一曖昧模糊菼藟

于遠淺膚之弊と脱

其實地中臨下不眩惑

遺漏おく明瞭了然實

驗發揮其堂之昇其

室子入遂其蘊奥と
 究め各國之學並備網
 羅一々異教其端と排
 斥擯斥一或と拘泥羈

絆せ以神明を尊崇一
 國教を固守一洋外八
 紘宇宙天地間を赫々
 たる皇威を耀ん奉と

ミカドノゴイセイ

和漢語林

三十四

卑賤ひせん輕華けいけ至微しゑい至陋しろう

僕ぼく不佞ふゑい隙生きくせい鄙生びせい拙子せつこ

我われ葉は至近しじん私し子こ只管くわん希き

望ぼう切望きつぼう庶幾しよき耳みみ



明治五年壬申九月

冲志樓主人著

思明樓藏版

東京

